



Charlotte

—シャーロット好みの私の家—

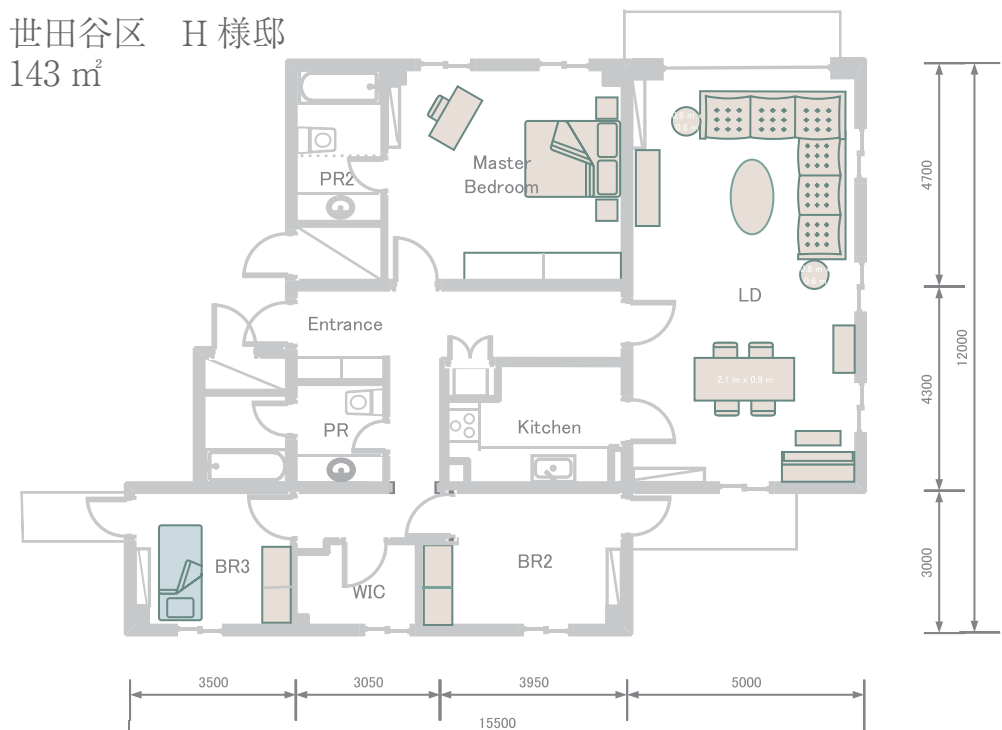


Request

築 25 年の中古マンションリフォーム。アメリカの人気ドラマ『Sex & the City』のシャーロットのような部屋にしてほしい、というご要望。家具や小物が納まったあとの完成形が最大限美しくあるよう、インテリアから始める逆算リフォームである。耐力壁が多く、間取りの変更はしていない。メンテナンスをして活かせるものはなるべく活かした。

Concept

要望を受け、コンセプトは「シャーロット」。しかし、クライアントはシャーロットではない。ポッシュで女性らしく、クラシカルでモダン。シャーロットも気に入るであろう全く別の空間を創った。結果、クライアントの感想は、「私そのもの。私が部屋になったみたい。」ニュートラルカラーを黒で引き締め、赤をアクセントにしたLDは、お正月等日本の四季の色合いにもよくあう。照明計画等機能面にも十分に配慮した。



主たるエレメントリスト

【共通】
床：カーペット（東リ）
壁：輸入クロス（テシード、トミタ）
国産クロス（サンゲツ、リリカラ）
天井：塗装（一部クロス、リリカラ）
モールドイング：輸入品（みはし、トミタ）
ドア：一部オーダー品
ドアノブ：輸入品（EMTEK）
カーテン：輸入品（カサマンス他）
照明器具：輸入品（Visual Comfort 他）

【LD】
ダイニングテーブル：ドレクセル
ダイニングチェア：輸入品（Baker）
キャビネット：輸入品（Julian Chichester）
センターテーブル：オーダー品
ランプテーブル：ドレクセル
【主寝室】
ベッド オーダー品
ナイトテーブル：オーダー品

概算予算 工事：約 1,070 万 家具：カーテン等 約 530 万 合計：約 1,600 万円（税込）



カーテンボックスの奥行きが狭かったため、LD、寝室とも奥行きを足し、モールドイングを施した。豪華に見える3重のカーテンは、実はコストを抑えるためでもある。（開閉しない飾りカーテンと開閉する実用のカーテン。実用のカーテンはリーズナブルなもの）



照明計画は、審美性（華やぎと落ち着き）と機能性（使い勝手と省エネ）に十分配慮した。光のオブジェとなるシャンデリアの他は、天井照明を極力使わず、壁面を照らす明かりとスタンド類を多く採用。寝室のナイトスタンドは、入り口と枕元で操作できる三路スイッチ。長い廊下は、センサー式で消し忘れに配慮。

